

図画工作科学習指導案

坂町立小屋浦小学校

指導者 仲井早人

1 日時 平成25年 11月6日(水)

2 学年 第2学年

3 題材名 せかいの絵かきさん

～キーワードゲームをしよう～ B鑑賞(1)

4 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、表現することが好きで、図工の授業などで多くの材料や技法にふれ、思い思いに表現活動を楽しんでいる。鑑賞に関して、児童は友だちの作品を見たり、感想を話し合ったりすることが好きであるが、作品集を見たり美術館に行ったりした経験は少ないと思われるので、1学期に自らの思いを伝えようとし続けたピカソの絵を取り上げ、絵解きパズルを行い、キュビズムの面白さに触れさせた。そして、その絵をみんなで見ていきながら、見方の自由さに触れてみた。また、数点の絵から1枚を選び、その絵を自分なりの見方に沿って鑑賞する場を設定するなど美術作品の鑑賞を経験した。

児童にできるだけ多くの美術作品と出合わせ、見る楽しさを味わい、鑑賞への関心・意欲を高めることができるようにしたい、また、作品を自分なりに味わい、自分の見方や感じ方に自信をもって鑑賞しようとする態度を育てたいと考え、日常的に鑑賞指導の充実を図って取り組んできた。

(2) 題材設定の理由

この題材は、小学校学習指導要領の第1学年及び第2学年の目標(3)「身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにする。」に基づいている。内容では、B鑑賞(1)イ「感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。」に関わっている。

本題材は「見る」ことに関心を持ち、美術作品の良さや美しさを味わうとともに、作品をじっくり見て、作者の思いや表現方法の特徴を感じ取る鑑賞活動である。友だちや教師と積極的に関わり合って、お互いの感想を話し合ったり、友だちの見方や感じ方を比べたりして、さらに深めていこうとする気持ちを育てることのできる題材である。

展開にあたっては、授業の前半にジョルジュ・スーラ作「グランド・ジャット島の日曜日の午後」を鑑賞し、感じたことや気づいたことを自分の言葉で表現し、友だちと伝え合う活動を設定した。鑑賞作品「グランド・ジャット島の日曜日の午後」は表現方法に特徴があり、不思議な雰囲気の中に多様な人物が描かれている。自分なりに自由に想像して楽しむことができ、この時期の児童の鑑賞にふさわしい作品である。「明るい、ぼんやりしている、静か、まぶしい」などの多様な見方、感じ方を伝え合いながら、作品の見方を広げていきたい。また、自分なりに気づいたことや感じたことを友だちと伝え合う活動は、作品や作者への思いをより深める学びの場になると期待する。

授業の後半では、「キーワードゲーム」を行い、友だちとゲームをしながら、お互いが感じたことを認め合えるようになって欲しいと考え、題材を設定した。

時数	題目名	主な学習活動	評価の観点	
			造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
1 時 (本時)	「キーワードゲーム」をしよう	(1) ジョルジュ・スーラ作「グランド・ジャット島の日曜日の午後」を鑑賞し、自分の見方・感じ方を伝え合う。 (2) 鑑賞カード遊びを楽しみながら、作品に親しむ。	○	◎

6 研究主題にせまるための手立て

(1) 題材開発

- ・ ジョルジュ・スーラ作「グランド・ジャット島の日曜日の午後」は海を眺めている多くの人達が、同じ方向を向いてくつろいでいる絵で不思議な雰囲気を持ち、多様な見方、感じ方でとらえることのできる作品である。自分の見方、感じ方をお互いに伝え合うことを通して、児童一人ひとりが作品の見方をさらに広げていくことができると考えた。また、スーラの表現方法は児童に新たなおどろきを与え、興味関心をもって、じっくりと絵を鑑賞する楽しさを味わうことができると考え、鑑賞作品としてとり上げた。

(2) 指導過程の改善

- ・ 絵解きパズルを行い、作品への興味・関心をもたせるようにした。また、作品の一部を拡大したのを見て、表現方法の特徴を視覚的にとらえることができるようにすることで、おどろきと新鮮な目をもって作品をとらえることができると考えた。

(3) 学び合いの工夫

- ・ 友人の見方のよさや自分とのちがいがわかるように、グループ内で一人ひとりが鑑賞したことを伝え合い、意見交換ができるようにした。

7 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
美術作品のよさや美しさ、描かれているものなどに関心をもって見ようとする。	美術作品を見たり、作品について友だちと話し合ったりすることで、自分の見方や感じ方を深める。

8 本時の指導

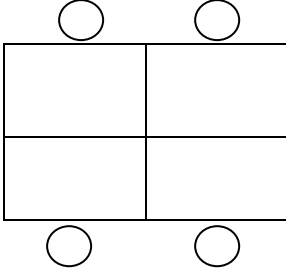
(1) 題 目 「キーワードゲームをしよう」

(2) 目 標

- 鑑賞カード遊びを楽しみながら、描いたり作ったりしたものなどを見ることに関心をもつ。
(造形への関心・意欲・態度)
- お互いの選んだカードを紹介し合う中で様々な見方、感じ方があることを知る。
(鑑賞の能力)

(3) 授業の観点

- 「キーワードゲーム」を通して、鑑賞作品に親しむことができたか。
- 作品のよさや楽しさ・不思議さ・美しさ等、作者の思いをより身近に感じることができるよう、名画の鑑賞を取り入れたが、効果的であったか。

<p>ふ か め る ま と め る</p>	<p>5 キーワードゲームを行う。</p>  <p>4人グループで机を向き合わせる。</p> <p>6 お互いが選んだ作品を味わう。</p> <p>7 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○ 自分の感じ方と友だちの感じ方を比べさせながら進めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> とまどっている児童には、「この絵はどんな感じがするかな？」等、一緒に考えながら支援していく。 <p>◎</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>カードをよく見て、言葉に合うカードを探そうとしているか。 (観察)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 手元のカードをもう一度ながめ、一番気に入ったカードとその理由を紹介し合う。 感想や気づいたことを発表する。 友だちの見方や感じ方の良い所を発表させる。 	
---	--	--	--

9 板書計画

㊦ 絵を見てかんそうを話し合おう

スーラ作
「グランド・ジャット島の
日曜日の午後」

- ・ 明るい
- ・ まぶしい
- ・ 静か
- ・ 同じ方を見ている

キーワードゲーム

ことばカード (うらむき)

きれい

こわい

あたたかい

アートカード (表むき)

絵

絵

絵

ふりかえり

- ・ 花火のようにまぶしそう・・・なるほど
- ・ ぼくと同じ気持ちだった。